

浅海域の生態系（1）

2024年度は浅海域の物質循環について改めて見直す機会としています。第2回 RACESセミナーでは、国立環境研究所の金谷 弦 主幹研究員をお招きして、東北の震災による沿岸域における生態系の搅乱とその後の再生について、また、広島大学の和田教授から藻場における有機物分解とブルーカーボンについて話題提供を頂きます。興味・関心をお持ちの方は、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

- テーマ 浅海域の生態系（1）
- 主催 一般社団法人 生態系工学研究会（RACES）
環境研究総合推進費戦略プロジェクト S-23-3
- 日時 2024年9月28日（土）14:00～16:50
- 場所 大阪大学大学院工学研究科オープンイノベーションオフィス（ハイブリッド形式）
〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪ナレッジキャピタルタワーC 9階
(JR 大阪駅などから徒歩5分)
- 申込 下記の登録フォームにてお申し込みください。
<https://forms.gle/RwwMQQosi1JnEhWk9>
- お問合せ 生態系工学研究会 事務局 e-mail: office@races.jp
- プログラム



14:00～14:05 趣旨説明

14:05～15:15 講演「海岸工コトーンの搅乱、保全と再生

－東日本大震災後の仙台灣におけるいくつかの事例から－

金谷 弦 様（国立環境研究所地域環境保全領域 主幹研究員）

【講演要旨】東日本大震災による海岸工コトーンの大規模な変化（搅乱）とその後の移り変わりについて、（1）仙台市蒲生干潟における植生帯、地形、底質、生物相の変化と2023年までの変遷、（2）福島県松川浦でみられた震災後における底生動物多様性の著しい増加、さらに（3）福島県いわき市の鮫川における復旧工事の影響と希少種ハマガニの保全策などのトピックを紹介する。

15:25～16:35 講演「海藻藻場の有機物の分解性とブルーカーボン」

和田 茂樹 様（広島大学瀬戸内カーボンニュートラル国際共同研究センター 教授）

【講演要旨】海藻藻場は炭素隔離に寄与するブルーカーボン生態系として注目されている。特に海藻由来の有機物の分解性は海藻由来の炭素の行方を決定するため、その評価は喫緊の課題とされていることから、海藻の有機物分解の研究とブルーカーボン評価における意義を紹介する。

16:35～16:50 ディスカッション



【大阪大学グランフロントイノベーションオフィス 会場案内】

<https://kc-i.jp/access/guide-09/>

・JR 大阪駅 徒歩 5 分

JR 大阪駅から連絡デッキ 2 階を通り、グランフロント大阪南館タワーA へ →そのまま直進し南館 2 階を通り抜け、連絡橋（2 階）で北館タワーB へ → 北館へ入った後エスカレーターで 1 階に下り、ナレッジプラザ（吹き抜け）の方向へ進み、TULLY'S COFFEE に沿って奥に進み、進行方向右手奥にタワーC オフィス入口（ガラス扉）があります。エントランスホールを奥に進むとエレベーターA・B があるのでエレベーターB にて 9 階まで上がってください。